

# 第75期 決算のご報告

平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに当社グループの第75期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業環境、業績および取り組み等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、第75期にスタートした中期経営計画「中計77」の主要施策を確実に遂行し、収益力の維持拡大を図ってまいりました結果、当社が連結決算を開始後の最高の当期純利益を二期連続で計上することができました。これもひとえに株主の皆様方のご支援の賜物であると感謝いたしております。

世界経済は先行き不透明感が増しており、また、国内では資材価格や労務費の上昇も予想されるなど、予断を許さない事業環境が続いておりますが、全役職員が一丸となり、株主の皆様へ安心をご提供できる企業を構築してまいります。

今後とも引き続き、ご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



平成29年6月

取締役社長 竹谷 紀之

## 当期業績概況

当連結会計年度の我が国経済は、世界的な景気回復に伴う輸出の持ち直し、製造業における在庫調整の進展、経済対策による公共投資の増加、年度後半の円安等により、企業業績が過去最高水準で推移。企業収益の改善を背景として、雇用や所得環境の改善も続いており、個人消費は依然として横ばい圏で推移しているものの、緩やかな景気の回復が持続いたしました。しかしながら、英国のEU離脱決定、欧州の政治情勢、米国新政権の通商政策、アジアや中東における紛争懸念等、政治的なりリスク要因により、世界経済の先行き不透明感が増しております。

国内建設市場におきましては、政府建設投資や民間住宅投資が増加したことに加え、製造業の合理化投資や更新投資、宿泊施設等の建設投資が下支えとなり、民間非住宅投資も底堅く推移しており、平成28年度の建設投資総額は52兆円に達する見込みとなりました。今後も東京都心部での大型再開発や東京五輪に向けた建設投資の増加が期待されておりますが、賃貸住宅や分譲マンションの着工戸数減少によ

る民間住宅投資の縮小が予想されるうえ、海外情勢に不透明感が残るなか、企業の設備投資に慎重な見方も拡大しており、引き続き予断を許さない受注環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、第75期よりスタートいたしました中期経営計画「中計77」の主要施策を確実に遂行し、足許の収益の維持拡大を図るとともに、今後の市場環境を見据えて、将来の礎となる強い競争力の構築に努めてまいりました。

これらの結果、当期の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、建設事業1,156億77百万円（前期比17億75百万円増）に不動産事業他11億25百万円（前期比37百万円増）をあわせ、1,168億2百万円（前期比18億13百万円増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は59億58百万円（前期比4億77百万円増）、経常利益は62億32百万円（前期比4億36百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は55億44百万円（前期比15億57百万円増）となりました。

## セグメント別概況

### ■建設事業

当社グループの受注高は、日本800億23百万円（前期比16億48百万円増）に、東南アジア286億14百万円（前期比70億78百万円減）をあわせ、1,086億37百万円（前期比54億30百万円減）となりました。

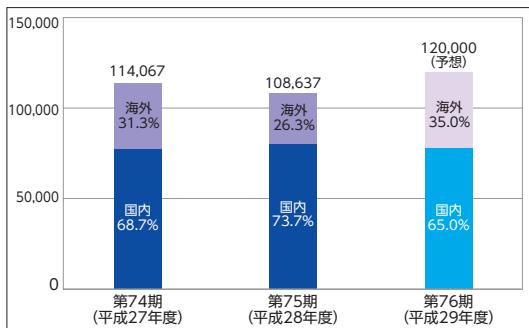
売上高は、日本745億12百万円（前期比11億43百万円増）に、東南アジア411億65百万円（前期比6億32百万円増）をあわせ、1,156億77百万円（前期比17億75百万円増）となりました。また、日本と東南アジアをあわせた当期セグメント利益は53億87百万円（前期比3億47百万円増）となりました。

### ■不動産事業

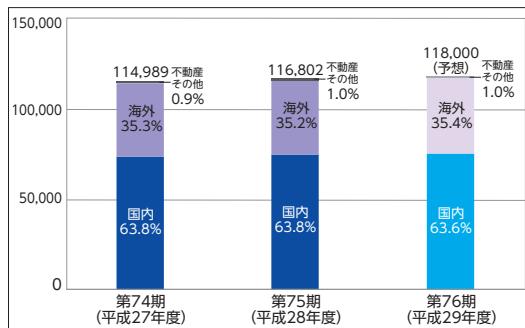
賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、10億14百万円（前期比0百万円増）となりました。また、当期セグメント利益は5億55百万円（前期比1億7百万円増）となりました。

## 業績推移

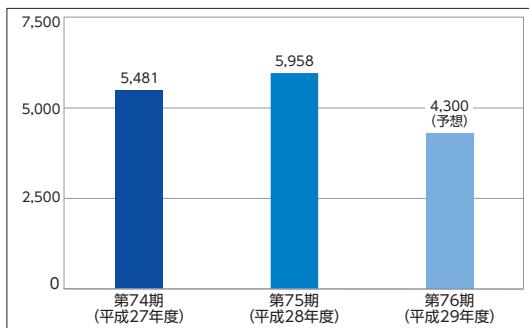
■連結受注高 (単位：百万円)



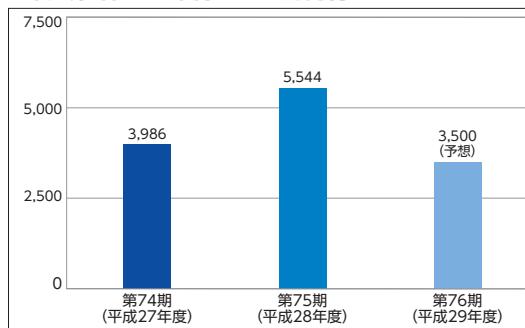
■連結売上高 (単位：百万円)



■連結営業利益 (単位：百万円)



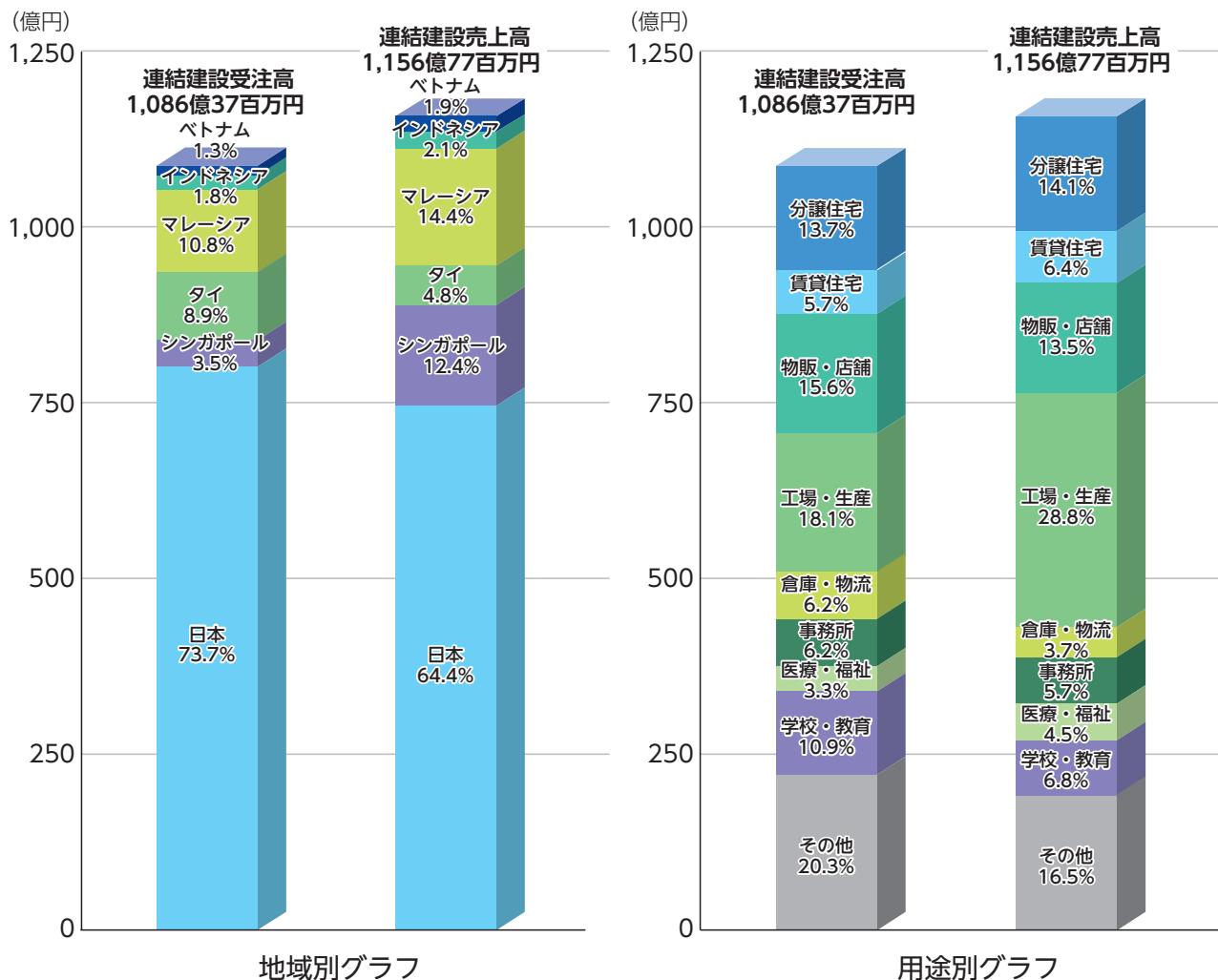
■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下のとおりであります。  
多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいております。



# 経営方針

## 経営の基本方針

当社は「誠意と熱意と創意の三意を以て信頼におこたえし」、「社業の発展を通して社会に貢献する」ことを会社経営の基本理念とし、引き続きコンプライアンスを徹底した経営を堅持してまいります。また、第75期よりスタートいたしました中期経営計画「中計77」は、国内外で将来の礎となる強い競争力を構築することに主眼を置いております。今後のマーケット変化に応じて会社を変革し、ナカノフドー建設の新時代を切り拓いてまいります。

## 会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、足許の国内景気は緩やかな回復を持続しておりますが、海外の様々なリスク要因が、日本や東南アジア経済に重大な影響を与える可能性があり、景気の先行き不透明感は増しております。

このような状況のなか、当社グループは、昨年4月にスタートした中期経営計画「中計77」の主要施策を確実に遂行して、国内外での受注力と収益力をより一層強化し、強靱な企業体質を構築してまいります。

国内建設事業におきましては、ソリューション営業により受注力を更に強化し、また、将来の労働力不足への対応と労働環境の改善に向け、積極的に新技術を導入して生産性の向上に努めてまいります。

一方、海外建設事業におきましては、マーケットの変化に対応して営業の幅を拡げ、各拠点で用途と顧客基盤の拡大を図るとともに、原価管理の向上により受注力を強化してまいります。また、海外事業の更なる発展に向けて、ローカル化を推進し、ガバナンスと内部管理の強化にも努めてまいります。

## 中期経営計画概要（平成28年4月～平成31年3月）

**将来の市場環境を見据え、競争力と収益力を更に強化し、  
国内と海外が一つになって新時代を切り拓く**

### 経営目標（平成31年3月期数値目標）

- ① 建設事業売上高合計 1,200億円以上
- ② 連結営業利益 50億円以上
- ③ 連結自己資本 310億円以上
- ④ 株主配当 8円以上

### 国内建設事業の基本方針

5年後の国内建設新築需要の縮小を見据え、収益力の更なる向上を図ると共に、市場が拡大するリノベーション分野の受注200億円を目指して体制を強化する

### 海外建設事業の基本方針

5年後の海外600億円体制を目指し、向こう3カ年は営業体制を整備すると共に、施工面ではローカル社員を計画的に育成して、堅固な500億円体制を構築する

# トピックス

## ■女性活躍推進活動

当社では、女性活躍の推進に向けて様々な取り組みを実施しております。

一般社団法人日本建設業連合会が推奨する「けんせつ小町」応援の垂れ幕を女性社員が働く現場に設置したり、女性施工管理職社員の座談会を開き、互いの仕事や今後のキャリアについて意見交換を行う等、女性が働きやすい職場環境づくりに努めております。



## ■BCP総合訓練の実施

当社では、大型地震が発生した際、社員や協力会社の社員の安全を確保したうえで、施工中物件と竣工物件および保有物件の被害を最小限に抑え、早期回復による事業継続を目指すとともに、建設会社としてインフラ復旧等の復興支援活動を通じて社会に貢献することを目的とし、事業継続計画（BCP）を策定しております。

その活動の一環として、首都直下型地震を想定したBCP訓練を、本社・東京本店合同で実施いたしました。BCP総合訓練は年一回実施しており、今回の訓練は、災害発生直後の初動対応と被災後の事業継続に係る各自の手順、役割の確認を行う目的で実施いたしました。

具体的な内容としては、電力等の全インフラが機能しない状況下で、災害発生からの6時間を想定して初動訓練を行いました。また、通信手段として既に導入済みの衛星携帯電話と併用して、新たに導入した「IP無線機」と「商業用無線機（トランシーバー）」を使用した訓練も実施いたしました。



## ■国際文化交流の推進

設立から31年となる当社グループ会社のPT.インドナカノ（インドネシア共和国）では、2015年より国際文化交流の一環として「ジャカルタ絆駅伝」に参加しております。

これは日本人とインドネシア人がともにタスキをつなぎゴールを目指すことで両国の友好を深めることを目的としており、日本政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業「SPORT FOR TOMORROW」の一つでもあります。2016年は過去最高の441チームから日本人・インドネシア人あわせて1,764人が参加いたしました。PT.インドナカノからも3チーム12名が参加し、走者には沿道からの熱い声援が送られました。

当社は、これからも積極的に国際文化交流を図り、地域に根差した活動を行ってまいります。



設立記念 PT.インドナカノ社員の集い



ジャカルタ絆駅伝

## ■社会貢献活動

当社では、社会貢献活動の一環として、がん対策支援活動、植樹活動、地域清掃活動等に参加しております。

それぞれの活動を通して、環境保全をはじめとする社会貢献に対する社員の意識をより高めることができました。今後も、このような社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



がん患者支援 がん征圧イベント（東京）



共生の森植樹祭（大阪）



クリーンアップ（福岡）

# 施工実績紹介 (当期完成工事)

## 工場・生産施設



株式会社なとり埼玉新工場

発注者：株式会社なとり  
設計者：当社  
構造：鉄骨造  
規模：地上4階  
延床面積：15,780.25㎡

## 事務所



ハブセン事務所およびサービスセンター (マレーシア)

発注者：ハブセンランドディベロップメント (プチョン)  
設計者：ASIMA ARCHITECT  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：6棟、地下2階、地上6階  
延床面積：58,890㎡

## Condominium



ラッシュエーカー  
エグゼクティブレジデンス  
(シンガポール)

発注者：バースプリング  
プロパティ  
設計者：ADDP Architects  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：4棟、地下1階、地上  
22、23、24、25階  
延床面積：45,501㎡

## 教育施設



順天堂大学さくらキャンパス学生寮

発注者：学校法人順天堂  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上8階  
延床面積：4,924.56㎡

## 賃貸住宅



都営船堀一丁目第2アパート5号棟

発注者：東京都  
設計者：株式会社慎設計事務所  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上14階  
延床面積：6,553.16㎡

## サービスアパートメント



三光ソフランホールディングスアパート（インドネシア）

発注者：PT.三光ソフランインドネシア  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上8階  
延床面積：9,089㎡

## 事務所・倉庫



タイガースポリマー事務所・倉庫（タイ）

発注者：トスプラント エンジニアリング（タイランド）  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上2階  
延床面積：2,072㎡

## 工場・生産施設



株式会社リパティーフーズ 新茨城工場

発注者：株式会社リパティーフーズ  
設計者：株式会社丸中設計事務所  
構造：鉄骨造  
規模：地上3階  
延床面積：12,583.28㎡

# 受注実績紹介

## 日本工業大学 講義棟・食堂棟・クラブ棟他新築



学園創立110周年、大学設立50周年の記念建設事業でございます。

宮代キャンパスにおける第1期工事は、1,000名の学生が同時利用可能なダイニングホール、41の部室・4つの会議室・シャワー室などを備えたクラブ棟、イタリアンメニューが自慢のキッチン&カフェの合計3棟が竣工し、学生生活における中心施設として、毎日多くの学生に利用されております。第2期工事は、キャンパスの新しいランドマークとなる講義棟を建設中で、低層部には各種教育センター等が配置され、高層部には数十人規模から300人収容まで対応できる多数の講義室を備えております。

発注者 学校法人日本工業大学

設計者 株式会社石本建築事務所

竣工 2018年12月予定

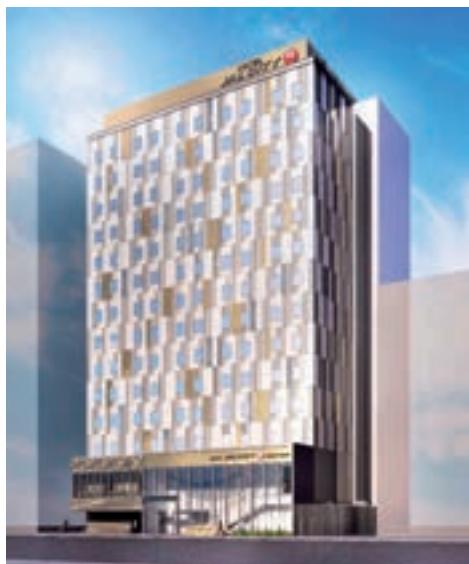
構造 鉄骨造

規模 地上1階2棟、地上3階1棟、地上7階1棟

延床面積 11,954.00㎡

場所 埼玉県南埼玉郡

## (仮称) ホテルJALシティ名古屋錦



「ホテルJALシティ名古屋錦」は、名古屋市中区の伏見駅近くに位置する、平均客室面積26㎡、総客室数216室の宿泊主体型ホテルでございます。レストランは、ダイニング、ラウンジ、バーコーナーを設け、お客様の様々なニーズにお応えできるオールデイダイニングとなっております。ホテルを運営するオークラニッコー ホテルズは、国内に49件のホテルを展開しておりますが、名古屋地区では初めてのホテルとなります。

発注者 合同会社錦一丁目開発

設計者 当社

竣工 2018年12月予定

構造 鉄骨造

規模 地下1階、地上14階

延床面積 9,496.43㎡

場所 愛知県名古屋市長

## 三井アウトレットパーク KLIA 2期増築



クアラルンプール国際空港に隣接するアウトレットモールの第2期工事でございます。当施設は、南国のリゾートをイメージした「パラダイスビレッジ」をコンセプトとしており、今般の増床により、店舗数は現在の約130店舗から約190店舗へと拡大し、店舗数において東南アジア最大級のアウトレットモールとなります。

発注者 MFMA ディベロップメント  
設計者 当社  
竣工 2017年12月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 地上2階  
延床面積 16,563㎡  
場所 マレーシア

## ザ・ポッシュコンドミニアム新築



コンドミニアムと店舗で構成される、若年の高所得者層や外国人向けの高層マンションでございます。バンコク市街地から車で30分程度に立地し、将来は高架鉄道により市街地と直結される予定で、利便性に優れた物件でございます。

発注者 カノコーン パッタナ カンパニー リミテッド  
設計者 Palmer & Turner (Thailand) Ltd.  
竣工 2019年10月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 地上39階、45階  
延床面積 75,841㎡  
場所 タイ

# 連結決算概要

## 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(平成29年3月31日現在)	(平成28年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	58,900	56,853
固定資産	19,083	17,123
有形固定資産	14,384	13,553
無形固定資産	1,051	261
投資その他の資産	3,647	3,308
<b>資産合計</b>	<b>77,984</b>	<b>73,976</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	47,565	50,564
固定負債	3,962	2,532
負債合計	51,528	53,096
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	25,730	20,427
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	19,300	13,997
自己株式	△31	△31
その他の包括利益累計額	△356	△572
その他有価証券評価差額金	786	567
為替換算調整勘定	△892	△592
退職給付に係る調整累計額	△250	△546
非支配株主持分	1,081	1,024
純資産合計	26,455	20,880
<b>負債純資産合計</b>	<b>77,984</b>	<b>73,976</b>

## 連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成28年4月1日残高	5,061	1,400	13,997	△31	20,427	567	△592	△546	△572	1,024	20,880
当期変動額											
剰余金の配当			△240		△240						△240
親会社株主に帰属する当期純利益			5,544		5,544						5,544
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						218	△299	296	215	57	272
当期変動額合計	-	-	5,303	△0	5,302	218	△299	296	215	57	5,575
平成29年3月31日残高	5,061	1,400	19,300	△31	25,730	786	△892	△250	△356	1,081	26,455

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	116,802	114,989
完成工事高	115,677	113,901
不動産事業等売上高	1,125	1,087
売上原価	105,672	104,181
完成工事原価	105,242	103,669
不動産事業等売上原価	429	511
売上総利益	11,129	10,807
完成工事総利益	10,434	10,231
不動産事業等総利益	695	575
販売費及び一般管理費	5,170	5,325
<b>営業利益</b>	<b>5,958</b>	<b>5,481</b>
営業外収益	377	401
営業外費用	103	87
<b>経常利益</b>	<b>6,232</b>	<b>5,795</b>
特別利益	16	32
特別損失	98	585
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>6,151</b>	<b>5,243</b>
法人税、住民税及び事業税	810	506
過年度法人税等	-	674
過年度法人税等戻入額	△46	-
法人税等調整額	△193	10
当期純利益	5,580	4,052
非支配株主に帰属する当期純利益	35	65
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>5,544</b>	<b>3,986</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	428	9,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,698	844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△969	△2,244
現金及び現金同等物に係る換算差額	△725	△1,873
現金及び現金同等物の増減額	△4,964	6,333
現金及び現金同等物の期首残高	29,329	22,995
現金及び現金同等物の期末残高	24,364	29,329

# 個別決算概要

## 貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期 (平成29年3月31日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	31,570	29,785
固定資産	18,754	17,818
有形固定資産	13,620	12,962
無形固定資産	208	253
投資その他の資産	4,924	4,602
<b>資産合計</b>	<b>50,324</b>	<b>47,604</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	31,198	33,351
固定負債	3,001	1,365
負債合計	34,200	34,717
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	15,409	12,376
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	8,979	5,945
自己株式	△31	△31
評価・換算差額等	715	510
その他有価証券評価差額金	715	510
純資産合計	16,124	12,886
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,324</b>	<b>47,604</b>

## 損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	75,554	74,381
完成工事高	74,525	73,386
不動産事業等売上高	1,029	994
売上原価	67,863	66,898
完成工事原価	67,430	66,405
不動産事業等売上原価	433	493
売上総利益	7,690	7,482
完成工事総利益	7,095	6,981
不動産事業等総利益	595	501
販売費及び一般管理費	4,158	4,288
<b>営業利益</b>	<b>3,531</b>	<b>3,194</b>
営業外収益	124	108
営業外費用	92	117
<b>経常利益</b>	<b>3,563</b>	<b>3,185</b>
特別利益	11	144
特別損失	86	185
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,488</b>	<b>3,144</b>
法人税、住民税及び事業税	491	208
過年度法人税等戻入額	△46	△12
法人税等調整額	△231	△0
<b>当期純利益</b>	<b>3,274</b>	<b>2,949</b>

## 株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金 資 本 準 備 金	利 益 剰 余 金 その他有価証券 繰越利益剰余金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評価差額金	
平成28年4月1日残高	5,061	1,400	5,945	△31	12,376	510	12,886
当期変動額							
剰余金の配当			△240		△240		△240
当期純利益			3,274		3,274		3,274
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						204	204
当期変動額合計	-	-	3,033	△0	3,033	204	3,237
平成29年3月31日残高	5,061	1,400	8,979	△31	15,409	715	16,124

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要

(平成29年6月29日現在)

商号	株式会社ナカノフドール建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,363名(連結) 707名(個別) (平成29年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。

## 主要な事業所

### 国内

本店	(東京都千代田区九段北四丁目2番28号)
東京本店	(東京都千代田区) 東北支社(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市) 大阪支社(大阪市)
九州支社	(福岡市) 土木支店(東京都千代田区)
台東支店	(東京都台東区) 北海道支店(札幌市)
北東北支店	(八戸市) 茨城支店(土浦市)
北関東支店	(さいたま市) 東関東支店(千葉市)
横浜支店	(横浜市)

## 主要な子会社

### 会社名

### 事業内容

#### 国内

中野開発株式会社(東京都千代田区)	不動産事業・その他の事業
-------------------	--------------

#### 海外

ナカノシンガポール(PTE.) LTD.(シンガポール)	建設事業・不動産事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD.(マレーシア)	建設事業
PT.インドナカノ(インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD.(タイ)	建設事業
ナカノベトナムCO.,LTD.(ベトナム)	建設事業

## 取締役および監査役

取締役名誉会長	大島 義和
代表取締役副会長	浅井 晶
代表取締役社長	竹谷 紀之
取締役	加藤 頼宣
取締役	服部 智
取締役	棚田 弘幸
取締役	佐藤 哲夫
取締役(社外)	河村 守康
取締役(社外)	福田 誠
常勤監査役	菅谷 昭彦
常勤監査役	中野 功一郎
監査役(社外)	山谷 耕平
監査役(社外)	佐藤 俊一

## 執行役員

取締役 専務執行役員	加藤 頼宣	経営企画部・総務部担当
取締役 常務執行役員	服部 智	海外事業本部長
取締役 常務執行役員	棚田 弘幸	国内建設事業本部長、業務監査部担当
取締役 執行役員	佐藤 哲夫	経理部担当
常務執行役員	山本 孝広	名古屋支社長
常務執行役員	赤坂 頼義	東北支社長
執行役員	飯塚 隆	東京本店長
執行役員	外岡 三弥	海外事業本部 副本部長
執行役員	村松 正秀	海外事業本部 副本部長
執行役員	吉村 哲志	大阪支社長
執行役員	小古山 昇	九州支社長
執行役員	後藤 俊二	東京本店 副本部長
執行役員	佐藤 夏樹	海外事業本部 管理部長

# 株式状況 (平成29年3月31日現在)

## 株式状況

■発行可能株式総数 154,792,300株

■発行済株式の総数 34,498,097株

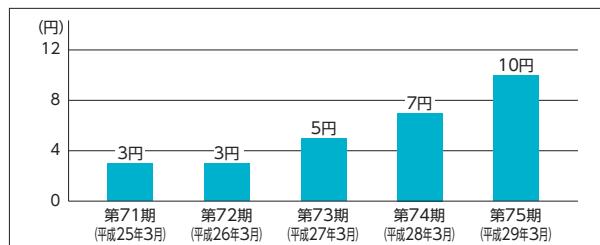
■株主数 4,088名

### ■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人大島育英会	6,756	19.66
関東興業株式会社	3,600	10.47
大島 義和	3,084	8.97
株式会社マリンドリーム	2,000	5.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,647	4.79
株式会社MBサービス	1,200	3.49
有田 信子	1,170	3.40
ナカノ友愛会投資会	727	2.12
ナカノ従業員持株会	634	1.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	619	1.80

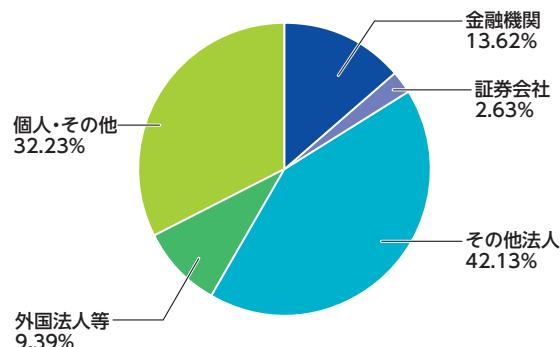
(注) 持株比率は、自己株式 (124,006株) を控除して計算しております。

### ■配当の状況



## 株式分布状況

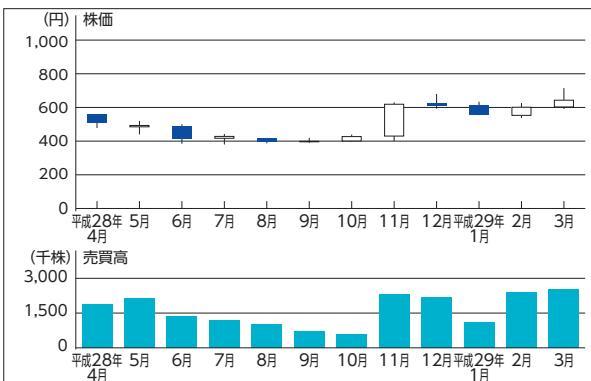
### 所有者別分布状況



**株式数**

金融機関	4,698千株
証券会社	906千株
その他法人	14,532千株
外国法人等	3,239千株
個人・その他	11,120千株

## 株価推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日  
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (連絡先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

### <表紙写真>

リバーツリーレジデンス (シンガポール)  
竣工：2017年  
設計者：ADDP Architects  
用途：コンドミニアム

## 株式会社 ナカノブドー建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号  
TEL 03 (3265) 4661  
ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>

## ご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、さまざまな情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。



<http://www.wave-nakano.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



本報告書は植物油インクで印刷しております。  
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。